



2022年10月11日

各 位

会社名 株式会社 ライトオン
代表者名 代表取締役社長 藤原 祐介
(コード：7445 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 大友 博雄
(TEL：029-858-0321)

特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し

並びに2022年8月期通期個別実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年8月期(2021年9月1日～2022年8月31日)において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、繰延税金資産の取崩しを行いましたので、お知らせいたします。

また、2022年8月期(2021年9月1日～2022年8月31日)通期個別業績値につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2022年8月期第4四半期会計期間(2022年6月1日～2022年8月31日)において、閉店を決定した店舗及び収益性の低下がみられた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失183百万円を計上いたしました。また、固定資産除去損13百万円等を計上したことにより、当第4四半期会計期間で計上した特別損失は合計で207百万円となりました。

なお、2022年8月期第3四半期累計期間までに既に計上しております特別損失を含めた2022年8月期の特別損失は、716百万円であります。

2. 繰延税金資産の取崩し

当期及び将来の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産521百万円の取崩しを行い、同額を法人税等調整額に計上いたしました。

3. 2022年8月期通期個別実績値(2021年9月1日～2022年8月31日)と前期実績値との差異

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2021年8月期)	49,536	83	90	△2,079	△75円42銭
当期実績値(B) (2022年8月期)	48,229	239	7	△1,166	△39円86銭
増減額(B-A)	△1,306	156	△82	913	—
増減率(%)	△2.6	188.4	△91.4	—	—

差異が生じた理由

当下半期におきましては、ワクチン接種が進行することにより新型コロナウイルス感染症による影響は徐々に緩和されると想定し、売上は緩やかに回復するものと見込んでおりましたが、変異株による感染再拡大が繰り返されたことに加え、不安定な海外情勢や急激な為替変動などによる相次ぐ物価上昇やガソリン価格高騰の長期化などに起因する先行き不安がある中、商品政策上や業務変革を実現する上での課題が多く残り、業績の回復には至らず、売上高は48,229百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

利益面につきましては、売上苦戦に伴い値引き販売が増加したことに加え、原材料費及び輸送費の高騰や急激な為替変動の影響により製品原価が上昇したため、売上総利益が減少する中、主に販促費や賃借料の販管費を抑制したことにより営業利益は239百万円（前年同期比188.4%増）となりましたが、新規借入に伴う支払利息及び支払手数料の増加により経常利益は7百万円（前年同期比91.4%減）となりました。

最終損益につきましては、新型コロナウイルス感染症による時短要請協力金等助成金収入、移設補償金等、特別利益を276百万円計上し、退店店舗及び収益性の厳しい店舗の減損損失、新型コロナウイルス感染症による損失等、特別損失を716百万円計上したことにより、当期純損失は1,166百万円（前期は2,079百万円の当期純損失）となりました。

以 上